



真保家の田んぼ「ひこばえ」が伸びてきました



穂をついた「ひこばえ」

二十四節気 寒 露 かんろー

露が冷たい冷気で凍りそうになる頃
本格的な秋のはじまりです

朝晩の冷え込みが厳しくなってきました。
日中との温度差が激しく、体調管理に気が抜けません。

◎◎ ラストスパート ◎◎

収穫を終えた田んぼが、多くなってきました。
各地域、集荷に伺う際に見渡してみても、8割～9割程は、稲刈りを終えた田んぼとなっています。
稲の切り株からは、ひこばえと呼ばれる、新しい茎が出ています。
穂をつけたひこばえもありますが、養分が無いため、粃の中は空っぽです。

○ひこばえ○

一般には、樹木の切り株や根元から生えてくる若芽のことをいいます。
太い幹に対して、若芽を孫(ひこ)に見立てて「ひこばえ(孫生え)」とよびます。
刈り取った稲の株から生えるものも「ひこばえ」とよんでいます。



「ひこばえ」が伸びてきました



粃殻を田んぼに散布しに行きます



集荷は終盤戦を迎えました

集荷の方は、終盤戦となってきました。

現在は、大規模生産者の方達へ、にじのきらめきや新之助の集荷に伺っています。

今年は夏の猛暑の影響で、品質が心配でしたが、

検査結果を見ると、品質は概ね良好です。

農家の皆さんに話を伺っていると、今年は収量も例年より多かったようです。

集荷もあと2週間程度で、終わりを迎えそうです。

先日、ベトナム北部の山岳地帯にあるムーカンチャイの記事を見ました。

ムーカンチャイは、美しい棚田がシンボルのようです。

人生の中で1度は訪れてみたいなと思っています。

新潟にも十日町市に星峠の棚田と呼ばれる綺麗な棚田があります。

まだ、訪れたことがないので、来年、景色が綺麗な頃に行ってみてみたいなと思っています。



ムーカンチャイの棚田